

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KIX12	階数	地上4F
建設地	箕面市彩都粟生北6丁目	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	27人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2019年4月22日
敷地面積	16,805 m ²	作成者	(株)NTTファシリティーズ
建築面積	6,046 m ²	確認日	2019年4月22日
延床面積	18,338 m ²	確認者	(株)NTTファシリティーズ

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内の高低差を活かし、建物機能によって大きく2つのヴォリュームに分けることで、建物の階数を抑えて圧迫感を低減するとともに、敷地内の法面に手を加えることなく、周辺環境に配慮している。また、災害に対し高い信頼性を持つ建物として計画している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	2階の会議室や廊下、3階・4階の事務室に開口部を設け、眺望を楽しむことができ開放感のある演出を行う。最適な空調設備計画、照明計画等により、快適な室内環境をつくりあげる。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲の法面はそのままし、境界からの後退距離を確保している。空気を確保し道路からの圧迫感の低減等、周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 外周の柵や門扉などにより歩行者の安全性に配慮している。また視認性・通風の良好なフェンスとすることで、快適性にも配慮している。広告物照明を設置する予定は無い。
Q2 サービス性能	来訪者のゾーンとサービスゾーンを明確に分けることで、快適で最適なサービスの提供ができるように配慮している。またセキュリティ的に安全なサービスが提供できるよう、セキュリティラインを明確にする等のセキュリティ計	
LR2 資源・マテリアル	ガス消火設備はN2消火設備を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0018

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	KIX12						
	建設地	箕面市彩都粟生北6丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.6	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		